

# 月布川における平成25年7月洪水を受けた 被害状況及び現在の取り組み状況について

平成２６年３月５日  
山形県県土整備部河川課

## 1. 月布川について

(1) 月布川の概要

(2) 降雨状況

(3) 平成25年7月洪水の水害状況

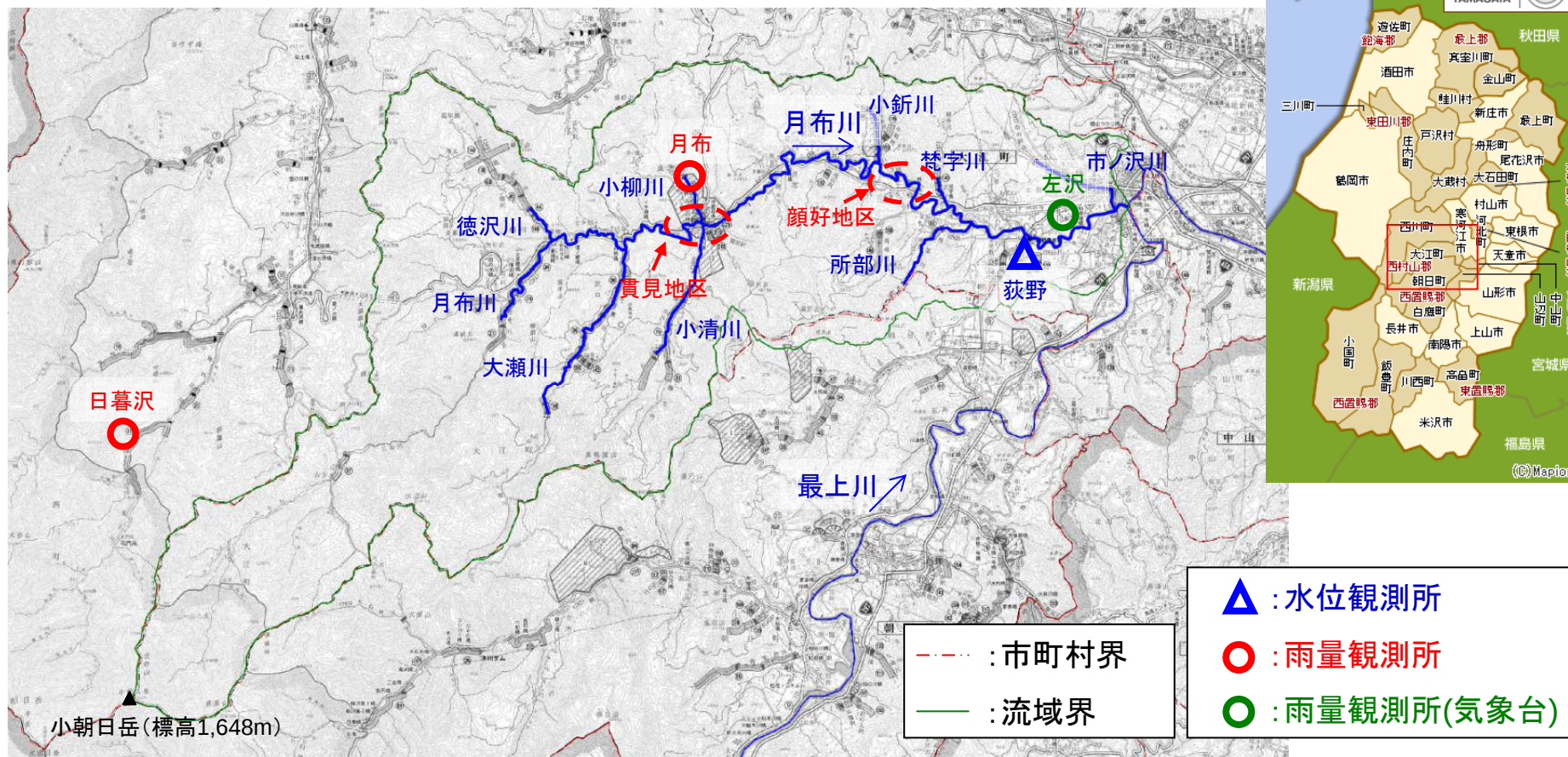
(4) 今後の対応（災害関連事業の実施）

# 1. 月布川の河川整備について（1）月布川の概要

P-2

月布川は一級河川最上川の一次支川であり、山形県西村山郡大江町のほとんどを流域としている。朝日山地小朝日岳（標高 1,648m）を源とし、山間部を蛇行しながら流下し、支川徳沢川、大瀬川、小柳川、小清川、小鉦川、梵字川、所部川、市の沢川と合流し、最上川に注ぐ。流路延長L=24.2km、流域面積A=141.6km<sup>2</sup>の一級河川である。

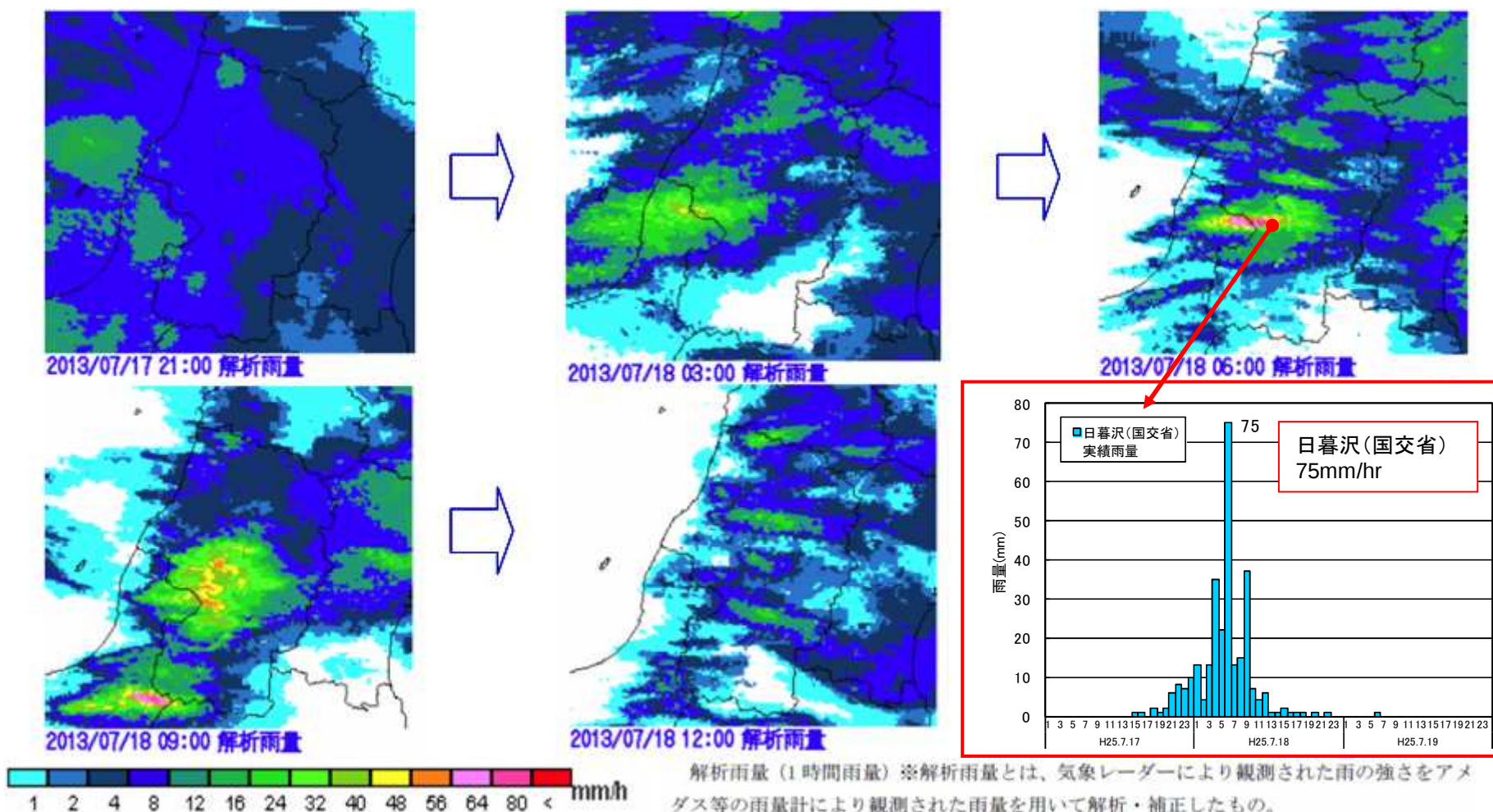
平成 25 年 7 月 17 日から 18 日にかけての低気圧に伴う大雨により、月布川中流部、貫見地区、顔好地区等では、宅地や農地で浸水被害が発生した。



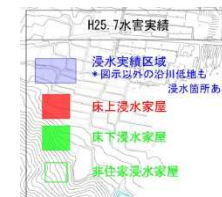
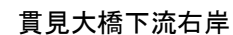
# 1. 月布川の河川整備について（2）降雨状況

P-3

7月17日に日本海にあった低気圧がゆっくり南東に進み、18日には山形県付近を通過した。この低気圧に向かって太平洋高気圧から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、山形県では断続的に非常に激しい雨となった。



貫見大橋下流右岸



貫見大橋上流右岸



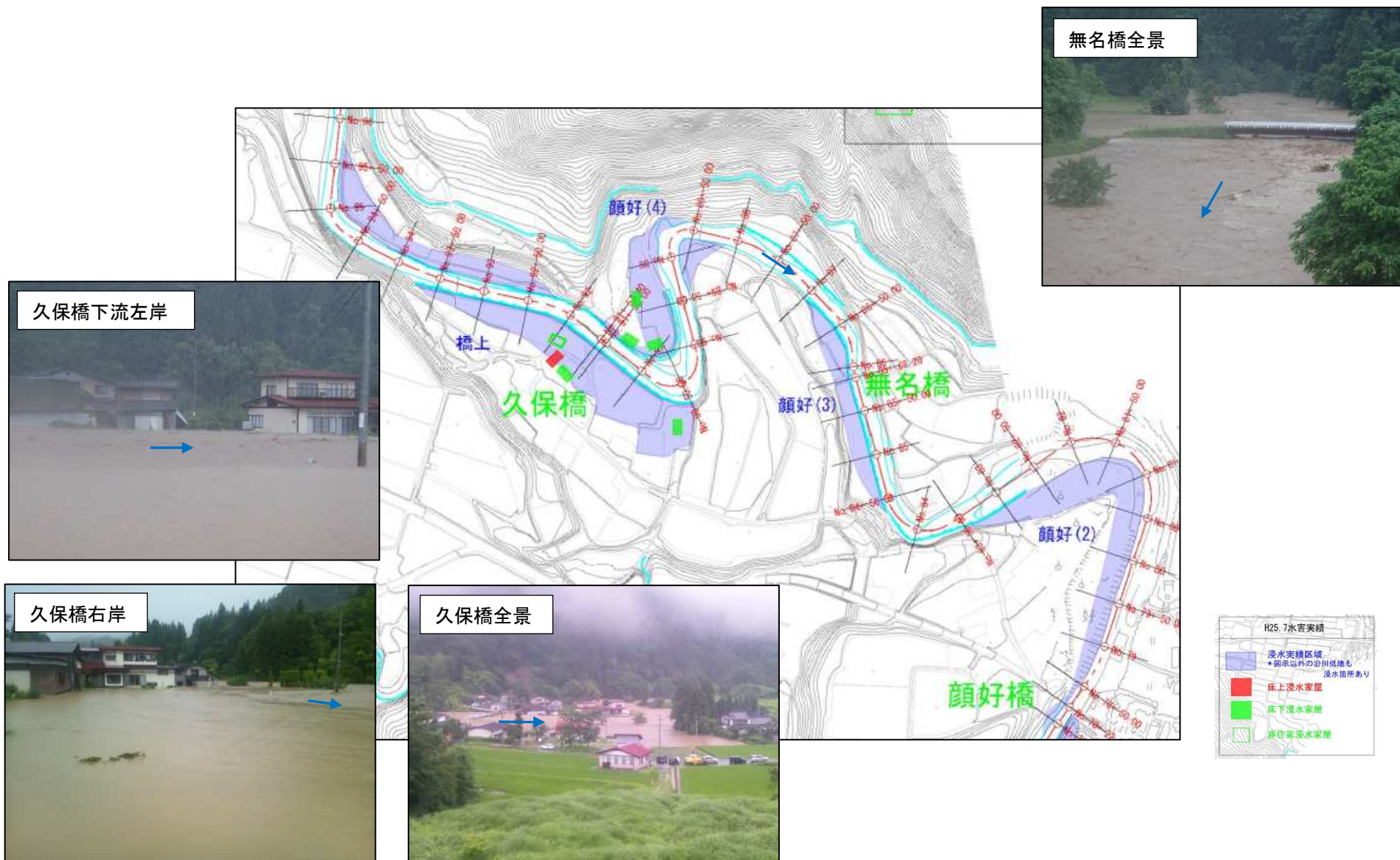
貫見大橋上流右岸



# 1. 月布川の河川整備について（3）平成25年7月洪水の水害状況

P-5

## 顔好地区



家屋浸水など、甚大な被害が発生した貫見地区及び顔好地区については、河川改修による効率的かつ早急な治水安全度の向上の必要性が認められ、この度、12月6日付けで災害関連事業が採択されました。

県では、両地区において今年度から３年間で河川改修を実施し、今回と同等規模の降雨に対する浸水被害の解消を図ります。

なお、両地区以外における河川管理施設の被災については、原形復旧に向けて取り組んでいます。

